

地球温暖化防止実行計画

平成25年10月

菱機工業株式会社

1 事業内容

ホームページアドレス <http://www.rvokikogyo.co.jp/company/>

経営方針

私達菱機工業は、自らの手で作ったシステムに命を吹き込むことで快適な環境を創り出しています。その方法はあくまでも地球環境を愛し、守っていくという姿勢で一貫しなければならないと考えています。

当社は創業以来“快適な環境づくり”を旗印に設備専門業者として歩んで参りましたが、いま私達をとりまく環境は幸いにしてある程度快適さについては充足されつつあるといえます。物質的豊かさから心の豊かさを求める時代へと変容し、工場やオフィスの作業環境についてもその設計には、どれだけ生活感覚を取り入れるかという配慮なしには考えられなくなりつつあります。

こうした時代と共に変化するお客様のニーズに対し、常に的確な提案を用意しておくのが、われわれ技術者の使命であります。

幸い当社の歴史と共に蓄積された施工技術と、経験豊かな企画設計能力を備えております。

当社が今日あるのは、ひとえにお客様各位の暖かいご支援の賜ものと感謝致しておりますと同時に、今後地球環境を守る姿勢をくずすことなく一層の研鑽努力を重ねご要望にお応えしてまいります。

会社概要

社名 菱機工業株式会社

代表者 代表取締役 北川雅一郎

創業 1930年 10月

設立 1954年 10月

資本金 10億7725万円(全社)

事業所 本社東京, 金沢, 新潟, 長岡, 長野, 仙台, 富山, 福井各支店, 同左所属各営業所

従業員数 金沢支店・本社(金沢事業所) 116名(平成23年度9月時点)

業種 管工事, 電気工事業, 建築工事業, 消防施設工事業, 機械器具設置工事業

事業内容 1.空気調和設備の設計・施工
2.給排水衛生設備の設計・施工
3.防災設備の設計・施工
4.クリーンルームの設計・施工
5.自社開発“RiCS”システムの適用と開発
6.その他の冷熱関連・融雪設備

2 計画の目的

菱機工業は、建築設備が地球環境に大きな影響を持つことを自覚し、環境負荷の低減への取り組みを行い、社会の一員として環境の保護と環境の改善に継続的な活動を図り社会に貢献すること。

3 計画の期間

本計画期間は、平成24年度10月から平成29年度9月間の5年間とする。

尚、当社の事業年度は10月より新年度となるので、報告書提出時は、一昨年度の報告となる。

4 計画の範囲

本計画の範囲は、金沢事業所(金沢支店:現業, 金沢本社:管理で建物は同一)のみとする。

5 温室効果ガス排出量の現況

(1) 平成23年度(当社基準) 温室効果ガス排出状況 <金沢事業所のみ>

期間 23年10月 ~ 24年9月(平成24年度分は、弊社経営新年度開始直後で集計中)

Co2排出係数について：購入電力はH22年度 北陸電力排出係数, その他 金沢市より受領した一覧表より

エネルギー種別		使用量		二酸化炭素 排出係数	二酸化炭素排出量		排出割合
購入電力		187,913	kwh	0.423	79,487	kg-CO ₂ ・①	22.9%
燃料	灯油	648	リットル	2.49	1,614	〃	
	燃料の使用に伴う二酸化炭素排出量					1,614	〃・②
自動車 燃料	ガソリン	114,527.4	リットル	2.32	265,704	〃	
	軽油	386.93	リットル	2.58	998	〃	
	自動車燃料の使用に伴う二酸化炭素排出量					266,702	〃・③
二酸化炭素排出量の合計					347,803	〃①+②+③	100.0%

(2) 同上原因分析

①電気の消費

- ・事務所、倉庫等施設の照明、換気・給湯・空調機器の使用
- ・事務所内パソコン、サーバー、複合機等のOA機器の使用

②灯油の消費

- ・一部棟内暖房機器の使用

③ガソリンの消費 配置台数 57 台

- ・営業、工事、サービス用車両の使用（金沢→北陸3県内移動有。）

④軽油の消費 配置台数 1 台

- ・安全パトロール車両(RV車)の使用（金沢→北陸3県内移動有。）

6 温室効果ガス排出量の削減目標

平成23年度(当社基準:上表)の排出量を基準として、削減目標を次の通り設定する。

<内 訳>		平成23年度	平成28年度	削減目標(5年間)
電 気使用量分	((kg/年)	79,487	75,513	5%
燃 料	(")	1,614	1,533	5%
ガソリン	(")	265,704	252,418	5%
軽 油	(")	998	948	5%
二酸化炭素排出量 計 (kg/年)		347,803	330,412	5%

7 削減の為の取り組み

(1) 電気使用量の削減

- ①長時間 席を外すときは、パソコンの電源を切る。
- ②不要な箇所の消灯を更に行う。
- ③クールビズの柔軟な運用によるエアコン管理の更なる徹底を行う。
(コア期間 5月初旬~9月末)
- ④ウォームビズの柔軟な運用によるエアコン管理の更なる徹底を行う。

(2) 燃料の削減

- ①長時間 席を外すときは、温度設定を下げる若しくは電源を切る。
- ②ウォームビズの柔軟な運用によるファンヒーター管理の更なる徹底を行う。

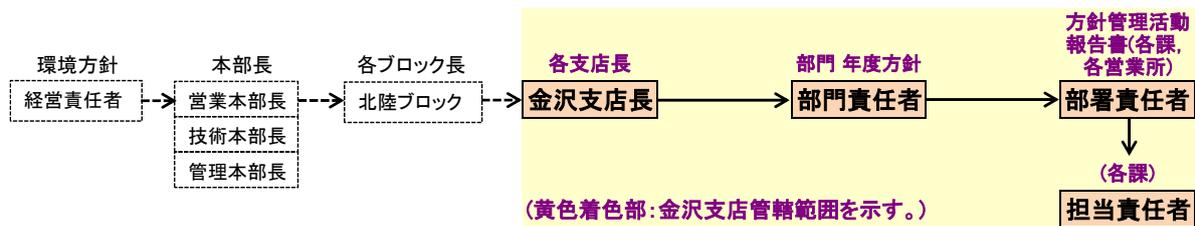
(3) ガソリン・軽油の削減

- ①更に、(できる限り)乗合等を実施する。
- ② 〃 効率的な運転、営業活動を実施する。

8 計画の推進体制

(1) 環境活動委員会組織図

ISO14001に則り、下表通りとする。



部署責任者: 営業課, 工事課, 設計課, 積算課, サービス課, リニューアル課, CAD課, 総務課, 購買課, 各営業所

担当責任者: 営業課, 工事課, 設計課, 積算課, サービス課, リニューアル課, CAD課, 総務課, 購買課

(2) 社員への周知

- ・年1回 温室効果ガス排出量表(前頁上部)を, 部門責任者に回覧し, 各部署内で結果について話し合う。